

宇部市 コミュニティ・スクールだより

令和4年度

No.10

「地域と学校の連携・協働に関する活動」について

令和2年4月より、社会教育推進委員会の所掌事務に「地域と学校の連携・協働に関すること」が明記されました。各地区社会教育推進委員会には学校代表も参画しており、学校づくりと地域づくりの一体的推進が進んでいます。人づくり、つながりづくり、地域づくりをめざして各地区の特色を生かした取組が展開されています。今回は、恩田地区社会教育推進委員会の取組を紹介します。各校、各地区で開催される地域学校協働活動の参考になれば幸いです。

社会教育推進委員会での協議について

【協議】

9月28日（水）

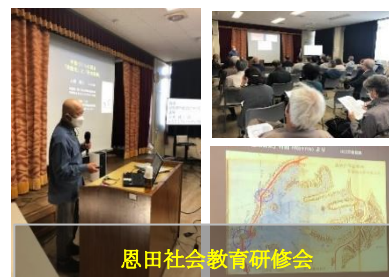
恩田地区では、9月28日（水）に社会教育推進委員会が開催されました。主たる議題は「恩田地区社会教育研修会」の内容についてです。これまで恩田地区では、常盤動物園園長さんの動物園経営についてや、家庭の医学、宮司さんによる人権研修等々、地区住民のニーズや時代の変化に伴い、研修テーマを設定し、社会教育研修会が開催されています。今回は、恩田地区の地名由来にも関わりがある「常盤湖」について学ぶことが提案されました。協議が進む中で、単に学ぶだけではなく、社会教育推進委員会を中心に地区住民はもとより小・中学生、地区内在住の高校生等にも広く周知し「学びを将来へ生かす」方向で話がまとまりました。

恩田地区社会教育研修会の開催 演題「常盤湖の歴史」

【学び】

11月26日（土）

9月の協議を元に、11月26日（土）に社会教育研修会が開催されました。演題は「常盤湖の歴史」、講師は、常盤湖本土手保存の会副会長、ふるさとコンパニオンの会の上田純二様です。常盤湖は、今から330年前の江戸時代、元禄期に椋梨権左衛門を中心に造られた灌漑用の湖です。2016年には世界灌漑施設遺産に登録されています。常盤湖を守るために排水用の水路が作られており、万が一の増水に備え常盤湖を守る整備活動が定期的に展開されていること等々、多くのことを学びました。



地域と学校の連携・協働活動の展開 「常盤湖を守る活動」

【活動】

12月18日（日）

11月の学びを元に、12月18日（日）に「常盤湖本土手保存整備活動」が行われました。当日は小雪舞う凍える天候でしたが、恩田小、常盤小、常盤中、宇部中央高校、ジュニアリーダー、大学生、地域住民等々総勢85名が集いました。作業は排水用の水路（天然石を掘削して造られたもの）の確保です。参加者は水路に溜まった落ち葉をかき集めたり、枯れた木や竹を伐採したりという作業に2時間、力を合わせました。作業後は会の皆さんが用意されたお茶や、コーヒーで温まり、互いの活躍を称え合っていました。講師を務められた上田さんは、「一緒に作業することも大事ですが、小中学生の内に歴史を知り、いつかは自分たちが受け継ぎ守るという気持ちを持ってもらうことが何より大事なことです。」と目を細めておられました。

